

### 【今週の注目疾患】

#### インフルエンザ

2016年10週の県全体の定点当たり報告数は、9週の33.51から減少し27.78となった。減少傾向にあるものの報告数が多い状態が継続しており、注意が必要である。

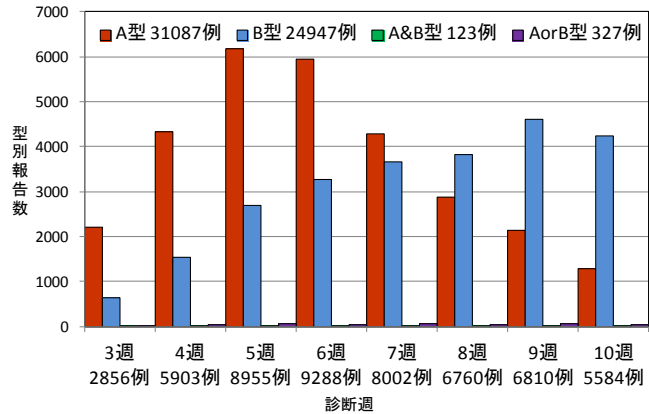
保健所別では、16保健所中15保健所管内で減少し、松戸(36.28)、印旛(32.50)、山武(31.63)、夷隅(30.60)、市原(30.45)、船橋市(30.29)、海匝(30.14)、香取(29.33)で多かった。

#### 2015/16シーズン全体の年齢群別報告割合

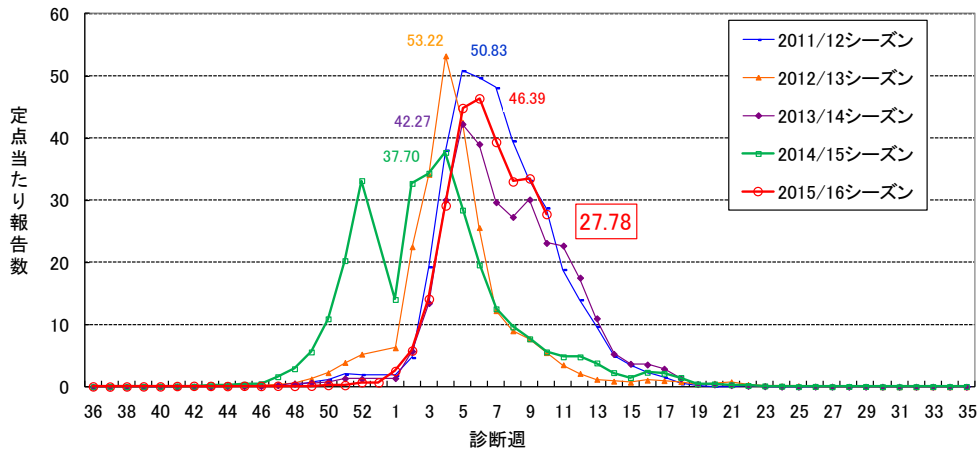
合は、5～9歳(34.6%)、0～4歳(17.8%)、10～14歳(16.8%)が多い。

2016年10週の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、5,584例中A型1,289例(23.1%)、B型4,236例(75.9%)、A and B型18例(0.3%)、A or B型41例(0.7%)であった。2015/16シーズン合計では、56,484例中A型31,087例(55.0%)、B型24,947例(44.2%)、A and B型123例(0.2%)、A or B型327例(0.6%)であった。

2015/16シーズン千葉県におけるインフルエンザ  
型別迅速診断報告数



千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



インフルエンザ

